情報等の交換に係る協力活動

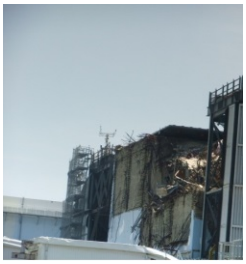
○原子力事業所見学会（作業環境視察）

東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として、平成２７年１１月４日及び５日の両日に、茨城県の福祉行政推進に協力する「緊急被ばく医療関連情報連絡会」の開催する「原子力事業所見学会（作業環境視察）」に同行する形で、東京電力(株)福島第一原子力発電所の原子力事業所見学会（視察）を開催しました。

東海ノアからは、４日には８事業所から１０名が、また５日には５事業所から５名が参加されました。

見学会（視察）は、福島Ｊヴィレッジに集合し、国道6号を経由して約40分をかけて福島第一発電所まで移動し、入域準備を整えた後、構内専用バス内から福島第一原子力発電所構内の現場を視察しました。

視察は、多核種除去設備、４号機原子炉建屋などの設備について、東京電力殿の説明を交えて順次めぐり、退域時の身体汚染検査や被ばく線量を確認した後、移動用バスにてＪヴィレッジに戻りました。



原子炉建屋

貯蔵タンク群

整地後除染残土置場

近隣周辺の様子

整地中除染残土置場